

2023年10月27日9時

天気 晴

水温 18.5°C

脱窒菌の栄養源として現在用いている繊維状の有機物には、溶出量が安定しないなどの問題があります。そこで、ORP（酸化還元電位）値に応じて可変的に液体のエタノールを注入できるポンプを購入し、栄養源の変更を検討しています。(F)

<次回は10月30日です>

脱窒菌と硝化菌の違い			
	機能	好適な条件	細菌の種類
硝化菌	アンモニアを硝酸に変える	酸素が多い条件で働く	独立栄養細菌(有機物を必要としない)
脱窒菌	硝酸を窒素ガスに変え系外に排出する	酸素が少ない条件(ORP*値: -200~-300mV程度)で働く	従属栄養細菌(有機物=栄養源の添加が必要)

\*、酸化還元電位(Oxidation Reduction Potential)

薬液注入ポンプ

脱窒菌の栄養源となるエタノールのORP値による注入制御

アピレの死亡および調査引き上げ数				
	死亡		調査引き上げ	
	10/20-10/28 (数)	生残率(%, 累積)	10/20-10/28 (数)	累積(数)
通常海水①	1	52.9	0	0
通常海水②	1	43.9	0	0
処理水添加①	0	51.0	0	0
処理水添加②	2	44.3	0	1

\*ヒラメの死亡はありませんでした

\*薬計に正確を期すため前週金曜～水曜日で死亡および調査引き上げ数を集計しています